

平成 29 年度 第 2 回桑名市地域公共交通会議 議事要旨

日時：平成 30 年 2 月 21 日（水）

開催場所：桑名市役所 4 階 入札室

出席者：13 名

3. 協議事項

①桑名市総合医療センター開院・桑名西医療センター閉鎖に伴うルート改正案【資料 1】

②施設「くわのみ」の利用状況に合わせた乗入れ便の変更案【資料 2】

③西部北ルートにおける「新西方南」の追加【資料 3】

④東部ルート・西部南ルートにおける減便について【資料 4】

・資料 4 西部北ルートにおける時刻表について新西方～蓮花寺住宅北間が 5 分であるがダイヤ案では新西方南が追加されたのに 4 分となっている（委員）

→詳細なダイヤ案についてはご質問の内容も含め運行事業者と協議を予定しております。
（事務局）

・資料 4 西部南ルートについて新西方発車ではなくイオンモール桑名発車にしているのはなぜか

→新西方バス停はイオンモール桑名から少々離れており、利用者が商業施設から出ですぐのバス停を利用できるよう本案とさせていただいた。（事務局）

・改正日はいつか（委員）

→5 月 1 日を予定しています（事務局）

・多度・長島総合支所のセンター化に併せて市役所本庁・新病院に直接行くことができるような検討したのか（委員）

→コミュニティバスは 1 台のバスで運行しているため、渋滞などの道路事情を勘案すると現行の交通サービスを維持することが困難など、課題がある

また桑名市の公共交通網としては鉄道を軸として考えており、民間バス路線を補完するような形でコミュニティバスを運行しているため、公共交通としては鉄道と合わせたご利用をお願いしたいと考えている。（事務局）

・長島駅での乗継などを考慮してもらいたい（委員）

・市民の立場としては直接本庁や病院に直接行ってほしい要望があるので検討していただきたい（委員）

・コミュニティバス・養老鉄道はなくなることはない住民は思っている。利用者数が何人以下になるなら運行をやめるということも必要（委員）

4. 報告

①地域間幹線系統の運行状況に関する報告【資料5】

- ・バスロケーションシステム、フィーダー系統とはなにか（委員）

→バスロケーションシステムはバスがどこを運行しているのかを携帯電話等で確認できるサービス。

フィーダー系統とは市町を跨いでる路線である地域間幹線系統に接続しているコミュニティバス路線のことを指す（委員）

- ・バスロケーションシステムは桑名では導入するのか（委員）

→導入は予定しているが、時期は未定（委員）

・桑名市内における 2 系統については他と比べると利用が多い。三重県南部では利用が少なく、補助が受けられなくなる系統もある。桑名市では養老線、北勢線もあり交通網は充実しているのでしっかりと利用して支えてもらいたい。（委員）